

2022 年度事業計画

1. 基本方針

2019 年 11 月 13 日のまちびらきによりハードとしての基盤が整ったまちにおいて、公園、商業施設、パークライフ・サイト（以下、まとめて「3施設」とする。）という、まちの3つの機能が連携しながら、まち全体を楽しく使いこなし、まちのブランディング・活性化に資する活動に積極的に取り組むことで、新たな暮らし方として、南町田ならではのパークライフをより魅力的なものに醸成していくことが期待される。

2022 年度は、3施設の運営主体がまち全体を使って実施するイベント等の活動を継続して支援し、3施設間の連携体制の構築や連携時の事務業務、まちとしての情報発信等に対する費用も支援する。

2. 2021 年度実施事業の概況

(1) 資金助成事業

①資金助成に関する事業

- ・ 3施設の各運営者に対する資金助成時のマニュアル改正

②資金助成を行った主な活動【活動主体】

- ・まちライブラリー@南町田グランベリーパーク運営【一般社団法人まちライブラリー】
- ・まちホームページ管理【グランベリーパークマネジメントオフィス】
- ・商業テナントによる公園イベント【TSURUMA パークライフパートナーズ】
- ・つるまパーク大作戦【TSURUMA パークライフパートナーズ】
- ・鶴間公園イルミネーション【TSURUMA パークライフパートナーズ】
- ・コワーキング実証実験【TSURUMA パークライフパートナーズ】
- ・南町田クリーンアップ大作戦【TSURUMA パークライフパートナーズ】
- ・さくらフェスティバル【TSURUMA パークライフパートナーズ】
- ・施設間連携支援【グランベリーパークマネジメントオフィス】
- ・南町田グランベリーパーク みんなで学ぼう！まちの防災2021イベント【グランベリーパークマネジメントオフィス】
- ・鶴間公園プレイスメイキングボード活用備品購入【株式会社コングレ】
- ・ブイアートイベント【株式会社コングレ】
- ・パークライフ・サイト ロゴ制作費【株式会社コングレ】

(2) 資金収集・管理事業

①資金収集に関する事業

- ・視察依頼の対応による視察料収入の確保

②資金管理に関する事業

- ・月1回程度顧問税理士との会計定例を実施

3. 2021年度実施事業から得た課題

前年度より3施設間の連携意識が高まり、まちのブランディング・活性化に向けた新たな取り組みも実施され、まちのブランディング・活性化に資する事業の幅も広がった。一方で、3施設間の連携業務の課題がより顕在化し、マネジメント会議の運営負荷やまちとしての情報発信の不足等において、当財団からの支援を手厚くしながら早期に解決していく必要がある。

当財団の資金助成対象は、3施設の運営者が実施するイベント等の費用を中心としつつも、引き続き3施設間の連携体制の構築や連携時の事務業務等に対する費用についても資金助成対象とし、積極的・効率的な連携体制が継続して行えるよう支援する必要がある。ただし、当財団の資金助成事業は、3施設が連携しながら、まちのブランディング・活性化に資する活動やイベント等の費用を支援することに重心を置いていることから、連携業務に関する資金助成は、2～3年程度を目途とし、長期的には、各運営者の運営管理業務の一環として行えるよう促す必要がある。

4. 2022年度予定実施事業

(1) 資金助成事業

南町田グランベリーパークの活性化やブランディングに資する活動に対する資金助成を行う。

特に、3施設の運営者間の連携体制の構築に必要な費用に資金助成することで、連携体制の強化を支援する。

(2) 資金収集・管理事業

南町田グランベリーパークの活性化やブランディングに資する活動に必要な資金収集を行い、管理する。

資金収集事業の一環として、南町田グランベリーパークの視察依頼に対応し、視察料を収受する。

以上